



丸善出版

学生向けタイトルセクション

文学

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
ノーベル文学賞—作家とその時代 (丸善ライブラリー)	柏倉 康夫 著	1992年	9784621050644	¥3,300	¥4,950	1031314155
20世紀の幕開けと共に誕生したノーベル文学賞は、2度の大战をはじめとする無数の戦争や革命、民俗紛争など、時代の激動と共に歩んできた。授賞の榮譽に輝いた80余名と、生涯待ち続けた数多の作家達、そして自ら受賞を拒否した人々。これらの文学者たちがおりなす人間のドラマと、その生きた時代を、多くの作品や証言によって綴る。						
読書見本帖(丸善ライブラリー)	池内 紀 著	1991年	9784621050026	¥3,300	¥4,950	1029574153
国内外の文学作品から、「読み換える」「ひとりぼっちの会話」「斜に構えて」「夢を夢見る」をテーマとして選りすぐった、現代人のための読書指南書。作家案内、作品案内、作品抄録、作品解説というユニークな構成で22の文学作品を多面的に紹介。作品解説の部分には、簡潔な文体によって、著者のエスプリとユーモアが随所にちりばめられ、作品のエッセンスと現代的解釈を鮮やかに浮かび上がらせている。						
愛すべきイギリス小説(丸善ライブラリー)	小林 章夫 著	1994年	9784621050453	¥3,300	¥4,950	1030815360
300年の歴史を持つイギリス小説は、各時代の背景をか浮かび上がらせながら、時にウィット、時に残酷で、静謐な中に隠された真実が垣間見えるストーリーなど、愛すべき作品の宝庫である。著者の豊富な読書経験から、読んで楽しい、心に残るユニークなイギリス小説22編を紹介する。取り上げる主な作品:ダール「牧師のたのしみ」、シェリー「フランケンシュタイン」、オーウェル「動物農場」、ウォー「ラヴデイ氏の遠足」他						
マラルメの火曜会 —世紀末パリの芸術家たち(丸善ブックス)	柏倉 康夫 著	1994年	9784621060100	¥5,940	¥8,910	1030681221
詩が、音楽が、そして文学や哲学がもつともいきいきと輝いていた時代、十九世紀末のパリ。偉大な詩人マラルメのもとに集った芸術家や文学者によって火曜会が生まれた。この火曜会こそが、十九世紀のそして二十世紀へと連なる芸術の源となったのである。マラルメの革新的な芸術論は、文学はもとより、とりわけ絵画の世界に大きな影響を与えた。本書では、画家マネ、ゴーギャン、ルドン、文学者リラダン、ジッド、ヴァレリー、音楽家ドビュッシーなどなど、マラルメと深い親交を結んだ芸術家たちとマラルメの生涯を描出する。						

文学

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
サドから『星の王子さま』へー フランス小説と日本人(丸善ライブラリー)	稲垣 直樹 著	1993年	9784621051078	¥3,300	¥4,950	1031210651
日本の作家たちは、フランス小説をどう読んだか？そして、その結果なにが産まれたのか？先人の学問的成果と著者独自の観点から、いまフランス小説をどう読みうるかを探る。						
作家の訳した世界の文学 (丸善ライブラリー)	井上 健 著	1992年	9784621050460	¥3,300	¥4,950	1031390606
我が国の近代小説の幕明けは、西欧文学の翻訳から始まったといっても過言ではない。多くの作家たちが、西欧の価値観や様々な技法に接し、挑発されて、独自の新しい文学の世界を切り拓いていった。本書は、近代から現代にわたる日本の作家たちが、自ら翻訳した様々な作品を取り上げ、その変遷と背景を探り、「翻訳」小説の本質に迫ってゆく。						
『源氏物語』を楽しむー恋のかけひき (丸善ライブラリー)	山口 仲美 著	1997年	9784621052372	¥3,300	¥4,950	1031537726
『源氏物語』の主人公、光源氏は、恋や結婚の場で、女性たちとどんな駆け引きのある会話を交わしているのか？それを明らかにしようとしたのが、本書です。光源氏の相手になった女性たちは、人柄や環境に応じて個性豊かな言葉を発し、彼とさまざまな関係をつくっていきます。それは、さながら現代の男と女の会話の見本集。さて、どんな言葉のやりとりが展開するのか、会話から読む『源氏物語』のはじまりです。						
文学と風土ー房総を旅した作家たち (丸善ライブラリー)	坂本 哲郎 著	1993年	9784621051054	¥3,300	¥4,950	1031889385
作家の歩いた道、住んだ土地を訪ねると、その作品の書かれた背景や時代、人々の顔が鮮明に見えてくる。幸田露伴、永井荷風、田山花袋、志賀直哉、伊藤左千夫から、林芙美子や高見順など、明治、大正、昭和にわたり日本文学に大きな足跡を残した作家たちが、房総に少なからぬ関わりを持っている。本書では彼らの作品を「旅と風土」をテーマに読みときながら、交友の記録や当時の文壇の状況などを描出する。						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月